



聴か
喜び
せたい。

El Sistema Festival 2013

音楽で未来は輝きだす

エル・システマ・フェスティバル 2013

～日本・ベネズエラ外交樹立75周年記念事業～

10月10日(木)・11日(金)・12日(土) 東京芸術劇場 コンサートホール

October 10,11,12,2013 / Tokyo Metropolitan Theatre

S席 ¥ 7,000 A席 ¥ 6,000 B席 ¥ 5,000 C席 ¥ 3,000 D席 ¥ 1,500

チケット好評発売中

● 10月10日(木) 19:00

日本・ベネズエラ外交樹立75周年記念ガラ・コンサート

藤倉大: Tocar y Luchar (奏でよ、そして闘え)
モーツァルト: クラリネット協奏曲 イ長調 K.622 (独奏:カリム・ソマザ)
モーツァルト: 木管楽器のための協奏交響曲 変ホ長調 K.Anh.9 (297b)
マッティンソン: コントラバス協奏曲 (独奏:エディクソン・ルイス)

● 10月11日(金) 19:00

ヴェルディ: オペラ「運命の力」序曲
グリーグ: ピアノ協奏曲 イ短調 op.16 (独奏:萩原麻未)
チャイコフスキー: 交響曲第5番 ホ短調 op.64

● 10月12日(土) 18:00

ヴェルディ: オペラ「運命の力」序曲
モーツァルト: 木管楽器のための協奏交響曲 変ホ長調 K.Anh.9 (297b)
ショスタコーヴィチ: 交響曲第7番 八長調 op.60 「レニングラード」
[管弦楽]エル・システマ・ユース・オーケストラ・オブ・カラカス
[指揮]ディートリヒ・パレーデス (10/10,11) / レオン・ボットスタイン (10/12)

〈無料イベント〉

エル・システマを体験できるワークショップ、日本におけるエル・システマや、音楽の社会変革の力について考えるシンポジウム、展示などを多数予定!
※詳細は決定次第、東京芸術劇場HP等で発表いたします。

巨匠ラトルやアバドも絶賛。

世界が注目する

エル・システマとは

ホセ・アントニオ・アブレウ氏の提唱により、1975年、ベネズエラから始まった音楽による無償の青少年育成プログラム。青少年は、集団での音楽活動を通じてコミュニケーション能力を高め、社会規範と自己の個性の表現を両立することを学ぶ。

美しい演奏を聴かせる

エル・システム・ユース・オーケストラ・オブ・カラカスは、ベネズエラの音楽の未来を約束している。(ホセ・アントニオ・アブレウ)



エル・システム・ユース・オーケストラ・オブ・カラカス
El Sistema Youth Orchestra of Caracas

ベネズエラの、音楽による青少年教育システム「エル・システム」内で結成されたユース・オーケストラ。ホセ・アントニオ・アブレウ博士※が36年前に設立。14歳から22歳まで、計175人の優秀な若者たちで構成されており、同じくエル・システムから生まれた傑出したオーケストラ「ベネズエラ・シモン・ボリバル交響楽団」(旧:シモン・ボリバル・ユース・オーケストラ・オブ・ベネズエラ)の一世代下の存在として、ベネズエラ国内のみならず、国外の指揮者からもその音楽性が高く評価されている。弦楽曲から交響曲、ベネズエラをはじめとするラテンアメリカ作品も演奏するなど、レパートリーは幅広い。

2011年、オスロで開かれたベルゲン国際音楽祭で国際的にデビューし成功を収める。続くアジアツアー(中国・韓国)でも高い評価を得た。2012年にヨーロッパ・デビュー。リスボン、ポルト、オスロ、ラヴェット音楽祭、プラハ・ドヴォルザーク音楽祭、サンクト・ペテルブルク、フランドル国際音楽祭、ウィーン・コンツェルトハウス、ボン・ベートーヴェン音楽祭で演奏を行った。2013年にはザルツブルク音楽祭に出演予定である。音楽監督は、同じくエル・システムで学び、将来を嘱望される指揮者ディートリヒ・パレーデス。グスターボ・ドゥダメルとも強いつながりがあり、彼のベネズエラ帰国の際には常に共演している。

※「エル・システム」創設者:ホセ・アントニオ・アブレウ
元文化大臣、経済学者であり音楽家であるアブレウ博士は、ユネスコ平和大使に任命されており、世界文化賞、旭日大綬章、ドイツ文化勲章などを受賞。芸術文化が「裕福な一部の人間だけに享受されてはならない」という信念のもと「エル・システム」を創設した。「音楽は不幸を希望に変える」として音楽の可能性を追求している。2012年ノーベル平和賞ノミネートの個人188人のうちの1人。

『クラシック音楽の未来にとって最も重要な活動は、いまベネズエラで起こっている』(サイモン・ラトル)



(C) Nohely Oliveros
ディートリヒ・パレーデス
(指揮)

Dietrich Paredes, Conductor

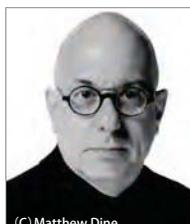
1980年生まれ。9歳よりヴァイオリンを学ぶ。オーギュスタン・デュメイ、オリヴィエ・シャルリエ等世界的な巨匠に師事。数々のコンクールで優勝し、ホセ・フェリックス・リバス勲章が授与される等、ソリストとしての活動は目覚ましく、シモン・ボリバル響のメンバーとして日本ツアーにも参加した。ホセ・アントニオ・アブレウに指揮を師事。シモン・ボリバル響やベネズエラの主要オーケを客演し大成功を収めている。現在はEYOCの音楽監督としてアブレウと共に青少年の音楽教育に励んでおり、同団の海外ツアーも成功に導いた。近年の同団の音楽レベルの向上は彼の功績によるところが大きく、その指揮技術と指導力、コミュニケーション能力は多くの指揮者から称賛されている。
(10、11日出演)



エディクソン・ルイス
(コントラバス)

Edicson Ruiz, Contrabass

1985年カラカス生まれ。11歳でコントラバスを始め、エル・システムのオーケストラに所属。史上最年少でベルリン・フィルハーモニー管弦楽団に入団し注目を集めた。15歳で国際ベース奏者協会コンクール優勝。その後ジャンヌ・サクサラに師事し、ベルリン・フィル・オーケストラ・アカデミーの最年少スカラシップ生となる。アカデミーではクラウス・シュトールに師事し、この学生時代にベルリン・フィルのオーディションに合格、団員となった。2002年にホセ・フェリックス・リバス勲章が授与される。これまで、ザルツブルク、ルツェルン、エディンバラ等主要音楽祭に出演、世界中のオーケストラと共演を果たしている。
(10日出演)



(C) Matthew Dine
レオン・ボットスタイン
(指揮)

Leon Botstein, Conductor

1993年よりアメリカ響の音楽監督兼首席指揮者。エルサレム響の桂冠指揮者でもあり、2003年から11年までは音楽監督を務めた。ロンドン響、ロンドン・フィル、ハンブルク北ドイツ放送響などにも客演し、レコーディングも多数。音楽学者としても名高く、アメリカの音楽雑誌「The Musical Quarterly」の編集を務めるほか、数多くの論文や書籍を発表している。カーネギー財団アカデミックリーダーシップ賞やレナード・バーンスタイン賞、アメリカ・ブルクナー協会から名誉メダルを授与されるなど、数多くの権威ある賞を受賞している。「エル・システム」創設者、アブレウ博士の友人。昨年ドゥダメルの声掛けによりエル・システム・ユース・オーケストラ・オブ・カラカスと共演し、楽団との信頼関係を築いた。
(12日出演)



(C) Akira Muto
萩原 麻未 (ピアノ)

Mami Hagiwara, piano

2010年第65回ジュネーブ国際コンクール(ピアノ部門)において、日本人として初優勝を果たした期待の若手ピアニスト。広島市出身。5歳よりピアノを始め、第27回バルマードーロ国際コンクールにて史上最年少の13歳で第1位に輝く。広島音楽高等学校卒業後渡仏し、パリ国立高等音楽院にて学ぶ。同大学院およびパリ地方音楽院室内楽科を卒業。現在はモーツァルトウム音楽院に在籍し、さらなる研鑽を重ねながらパリを拠点に演奏活動を行っている。近年では第13回ホテルオーケラ音楽賞、第22回新日鉄音楽賞 フレッシュアワード賞、第22回演出音楽賞、文化庁長官表彰(国際芸術部門)など多数受賞している。2013年6月、ベネズエラのカラカスを訪れ、パレーデス指揮のEYOCと共演している。
(11日出演)

〈主催〉駐日ベネズエラ・ボリバル共和国大使館 / 東京芸術劇場(公益財団法人 東京都歴史文化財団) / 一般社団法人エル・システム ジャパン(協力) EYOC日本ツアー支援委員会
〈招聘・制作〉KAJIMOTO (オフィシャルパートナー) 三菱商事 株式会社 (プリンシパルパートナー) キョーリン製薬ホールディングス 株式会社 (コーポレートパートナー) 国際石油開発帝石 株式会社
〈プラチナパートナー〉伊藤忠商事 株式会社 / 上野トランステック 株式会社 / 公文教育研究会 / 東洋エンジニアリング 株式会社 / 丸紅 株式会社 / 三井物産 株式会社
〈インカインドスポンサー〉株式会社 ヤマハミュージックジャパン / 楽天 株式会社 (その他次の企業様からご支援いただきました) 千代田化工建設 株式会社 / 日揮 株式会社 / 株式会社 パナグループ
〈助成〉公益財団法人 朝日新聞文化財団 / 平成25年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業 (認定) 公益社団法人 企業メセナ協議会

チケットのお申込み

【東京芸術劇場ボックスオフィス】
0570-010-296 [パソコン] <http://www.geigeki.jp/t/>
(休館日を除く10:00-19:00) [携帯] <http://www.geigeki.jp/i/t/>

【カジモト・イープラス】0570-06-9960
※音声自動応答で承りますが、オペレーター(10:00~18:00)もご選択いただけます。
ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。
カジモト・イープラス 検索 <http://kajimotoeplus.com/>

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。



その他取扱プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:203-931(10日・11日)、199-222(12日)]
e+ (イープラス) <http://eplus.jp/>
ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード:32224(10日・11日)、38616(12日)]
CNプレイガイド 0570-08-9990 (10日・11日のみ取扱い)
●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者変更、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。
●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。

